

男がやるべき？女がやるべき？ それは誰が決めたこと？

男女共同参画が進まない要因のひとつに、長年社会の中で形成されてきた『**固定的性別役割分担意識**』や『**慣習**』があります。『**社会的・文化的につくられた性差（ジェンダー）**』や『**アンコンシャス・バイアス**』など、社会の仕組みや習慣・慣行、人々の意識の中など、いろいろな形で差別が存在しています。これら無くしていくために、まずは無意識の思い込みに気づき、解消していきましょう。

固定的性別役割分担意識

「男は仕事・女は家庭」のように、男性・女性という性別を理由に役割を固定的に分ける考え方のこと。



わたしの家は共働きなのですが、義母に「**女性が家事をするべきだ**」と言われます。共働きだから、夫と家事を分担してやっていこうと思っているのに…。



チームでリーダー決めるときに「**リーダーは男性がやるべき**」と言われてしまいました。別にまとめ役が男性じゃなきゃいけない理由なんてないですよね？



アンコンシャスバイアス

無意識の偏見や思い込みから偏った物の見方をすること。自分の育った環境や経験から、いつの間にか先入観や思い込みが刷り込まれているかもしれません。



職場で「**年配の方はパソコンが苦手**だろうから、若者にお願いしたらどうですか？」と言われました。私は得意だし、年配だからといって苦手だと決めつけないでほしい！



学校で展示会をした時「**A型**の人は**几帳面**だから、飾りつけやって！」と頼まれていました。A型にも色んな人がいるし、血液型に関係なく得意な人がやる方がいいと思います。



解消するためのポイント

相手の「サイン」を見逃さない

話しているときに、相手の表情が曇ったり、声のトーンが変わったりしたことはありませんか？自身のアンコンシャス・バイアスから出た言動で相手を傷つけてしまったのかもしれません…。

「～するべき」「普通は～」に注意する

「～するべきだ」といった押しつけの言葉や「普通は～」といった決めつけの言葉が出たら、考えてみましょう。

常に自分に問いかける

常に自身の言動をふり返り、問いかけることが大切です。違和感のあったことをメモしていけば、自分の考え方や物の見方の傾向がつかめるかもしれません。

